（様式4a 号）

患者さんおよび患者さんのご家族の方へ

このたび当院では、以下の臨床研究を、滋賀県立総合病院倫理委員会の承認を受け、かつ病院長の許可のもと実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。

本研究の対象者に該当する可能性がある方やそのご家族の方で、ご質問がある場合、またはこの研究への参加を希望されない場合は、下記の担当者までご連絡ください。なお、本研究への協力を拒否されても、今後の治療を受けるうえで不利益が生じることはございません。

【研究課題名】
希釈TBT法を用いた冠動脈 CT 血管造影（冠動脈 CTA）における有用性の評価

1. 研究の意義・目的
心臓の血管を調べる CT 検査（冠動脈CTA）では、造影剤が血管に到達するタイミングに合わせて撮影することが重要です。現在、撮影タイミングの取得方法としてTBT法：Test bolus tracking 法が用いられており、当院でも TBT 法を用いて検査を行っております。しかし、TBT 法は心機能などの影響により適切なタイミングを逃してしまうこともあります。近年、この方法を改良した「希釈TBT法」が提案されています。希釈TBT法では、少量の造影剤を生理食塩水で薄めたものを本番の造影剤と同じ量注入し、その後一定の間隔を空け、本番の造影剤を注入することで、造影剤が血管に到達するタイミングを確認してから撮影を行います。今回の研究では、当院で行っている冠動脈 CTA において、希釈TBTを用いることで従来のTBT法より適切なタイミングで撮影できるかを評価します。

2. 研究方法
本研究では、通常の検査で撮影された CT 画像を用いて評価を行います。
希釈 TBT 法を用いて撮影した画像について、心臓の血管（上行大動脈）の写り具合を数値化して測定し、両者を比較します。
以下の患者さんについては、すでに行われた検査の画像を検討に用います。

3. 対照群の対象となる方
2025 年 10 月から 11 月までに当院で冠動脈 CTA を受けられた方が対照群となります。
本研究においては、希釈 TBT 法を行う方の他、対照群として上記の方の既に施行されている画像データを用います。

4. 利用する試料・情報
日常診療の範囲内での診療情報（年齢、身長、体重、撮影時心拍）、CT 画像データ。

5. 研究期間
倫理委員会承認日から 2027年 1 月 31 日まで

6. 個人情報の取扱い
撮影した画像は、通常の検査データと同様に保管します。また研究結果を学会発表する予定ですが、これにより患者さんの個人情報が外部に流出することはありません。

7. 費用および謝金等
費用および謝金等は発生いたしません。

8. お問い合わせ先
滋賀県立総合病院　放射線部　三國　ほの香（内線番号：5276）